

進路だより

2025

3月発行

富山県立高岡聴覚総合支援学校 進路指導部

高等部 インターンシップ

協力企業等皆様 ~ありがとうございました~

11月と1月にインターンシップを行いました。主な仕事内容をご紹介します。

株式会社EACH ONE 新の葉



部品の組立

株式会社OASIS オアシス高岡



テープ貼り

株式会社KK ほまれの家小杉



部品の組立

株式会社ダイエードリームライツ ワンダーランド砺波



配線作業



テープ巻き

ウエルシアオアシス株式会社



品出し

特別養護老人ホーム かがやき

株式会社アフレックス



総菜の盛付け



食器洗い

コマツNTC株式会社



事務補助

ワタキューセイモア株式会社



クリーニング仕分け作業

特別養護老人ホーム こぶし園



とろみ付け

株式会社プレステージ インターナショナル富山



清掃

株式会社ゴールドウイン エンタープライズ



廃棄作業

ヴィスト株式会社 ヴィストキャリア高岡



就労訓練

株式会社CH-5 CH-5ワークCHallenge



ラベル貼り

~生徒の感想より~

- ・作業が楽しく、褒めてもらえたので嬉しかった。
- ・今までインターンシップに行った会社の中で、一番「報告」「連絡」「相談」がしやすく、女性の社員も多くて仕事がいやしかった。
- ・一緒に働いている人と休憩時間に話ができて楽しかった。
- ・作業をする時間が長く感じた。
- ・自分には難しすぎる作業があった。
- ・バスの待ち時間が辛かった。

~保護者の感想より~

- ・会社からの予定表を見て、次の日の作業を自分で確認していました。
- ・いろいろな作業に取り組ませていただいて感謝しています。
- ・体験した話をたくさんしてくれました。
- ・「返事」について家でも話をしました。

~体験先より~

【個別に褒められたこと】

- ・挨拶、返事がしっかりとできており、真面目に一生懸命に作業に取り組む姿勢に好感がもてました。
- ・自分からコミュニケーションを取ろうと頑張っているのが伝わりました。
- ・当初の想定以上の業務をしてくださいました。
- ・作業の正確性、丁寧さ、集中力は大変すばらしいと感じました。
- ・仕事に対して真面目で、マニュアルもすぐに覚えていました。
- ・一緒に働くことがイメージできました。

【課題】

- ・作業説明時に返事がないので、理解できているのかが分からない。
- ・報連相が難しい。
- ・仕事、休憩時間にかかわらず「ありがとうございます」と自分から言えない。

企業向け 学校見学会

12月17日(火)に企業向けの学校見学会が行われ、18社から21名の方が参加されました。本校の生徒による学校紹介や作業製品のPRを行い、聴覚障害や知的障害を有する生徒の様子を知ってもらう良い機会となりました。

授業参観や施設見学では、聴覚障害に対するデジタル補聴援助システム等の支援方法や、高等部での就労に向けた取組について説明し、インターンシップの受入れや障害者雇用について関心をもっていただくことができました。

参加企業一覧

- ・(株)WFC
- ・朝日印刷ビジネスサポート(株)
- ・株式会社メフォス
- ・北陸電気工業株式会社
- ・株式会社富山村田製作所
- ・戸出化成(株)
- ・株式会社不二ビル
- ・株式会社スズキ部品富山
- ・(株)トライ・プリント
- ・トナミ運輸株式会社 富山主管支店
- ・全国農業協同組合連合会富山県本部
- ・(株)ユニゾーン
- ・株式会社プレステージ・インターナショナル
- ・株式会社ホーエ
- ・中原化成品工業(株)福光工場
- ・社会福祉法人 大門福祉会
- ・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 富山支部 高齢・障害者業務課
- ・コマツ



生徒による学校紹介



生徒による作業製品PR



入社前にどのような力を身に付けてほしいと思いますか

～参加者のアンケートより～

- ・挨拶
- ・コミュニケーション能力
- ・人の話を聞く
- ・協調性
- ・責任感
- ・理解力(類推能力)
- ・困ったときなど何でも自分から聞く
- ・ルール、時間を守る
- ・笑顔と挨拶ができる人は成長が早い
- ・素直さ
- ・規則正しい生活習慣
- ・心身ともに就業できる身体

ほとんどの企業の方が「挨拶」と書いておられました。

進路学習会

1月23日(木)に保護者と教職員による「進路学習会」を開催しました。4名のパネリストを交え、質問や進路に関する相談等について、各パネリストからお話をいただきました。

【パネリスト】

- ・有限会社北砺ビルサービス 代表取締役社長
- ・ヴィスト株式会社 ヴィストキャリア高岡 センター長
- ・砺波公共職業安定所 職業相談第二部門 統括職業指導官
- ・砺波障害者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー

- 林 真次 氏
- 浜名 莉那 氏
- 齋藤 智子 氏
- 山田 敏彦 氏



いろいろな職業体験をさせていただいていますが、本人の希望がうまく引き出せません。どのようにアプローチすればよいでしょうか？

- ・普段の様子(好きなことや得意そうなこと)は何か観察する。(=アセスメント)日頃の様子にヒントが隠されている。
- ・ジョブタグ(厚生労働省が運営している職業情報提供サイト)で興味がある分野を検索する。家族と一緒に取り組んでほしい。検索データを印刷したり、動画で仕事の様子を確認したりすることもできる。

学校生活で、働く前にこれだけは身に付けておいたほうが良いことをいくつか教えてほしいです。

- ・経営している企業で障害者を雇用している。企業が障害者のニーズの全てを満たすことは難しい。

<最低限身に付けておいてほしいこと>

- ①一人でも安全に配慮して仕事ができる
- ②挨拶
- ③積極性
- ④コミュニケーション能力
- ⑤自己管理能力
- ・身だしなみが整っていると、挨拶の効力が変わってくる。就労が継続するかしないかは企業側の問題だけではなく、家庭における支援も重要であると考えている。

卒業後の進路変更についての事例を教えてください。

例:A型事業所→企業

企業→A型事業所orB型事業所 また、その際の支援について教えてください。

<A型事業所から企業への就労の場合>

- ・事業所のサービス管理者が「企業に推薦したい利用者がいる。」と、障害者就業・生活支援センターへ連絡する。(推薦がない人が企業への就労に挑戦することも可能ではあるが、難しい結果になる事例が多い)センターで面接後、ハローワークにて求人票から就職先を探す。企業への見学後、チャレンジトレーニングを行い、本人(及び家族)と企業の双方の意思を確認し、就労の運びとなる。事業所に籍を置きながら、企業でチャレンジトレーニングをすることもできるが、その期間は無給となる。企業との縁がないと判断された場合は、事業所に戻って継続利用することも可能である。

<企業を退職して事業所の利用を始める場合>

- ・障害者就業・生活支援センターへ退職した旨を連絡する。事業所に見学に行く。相談支援事業所に繋いで計画書を作成してもらう。市役所の福祉課で手続きを行う。自治体から受給者証を発行してもらう。(約1ヶ月時間を要する)

